

GSJ 地球をよく知り、地球と共生する 地質ニュース

2018

9

Vol.7 No.9



国立研究開発法人
産業技術総合研究所
地質調査総合センター



<https://www.gsj.jp/publications/gcn/>

本誌のPDF版はオールカラーで公開しています。



9月号

-
- 223 **平成 29 年度廣川研究助成事業報告 (1)**
新生界微化石層序の年代分解能向上に向けた INA16 における研究動向調査及び国際共同研究の事前協議
宇都宮正志
-
- 227 **平成 29 年度廣川研究助成事業報告 (2)**
沿岸域における超長期の塩水—淡水混合過程に関する国際共同研究打ち合わせ
戸崎裕貴
-
- 231 **平成 29 年度廣川研究助成事業報告 (3)**
Near Surface Geoscience Conference & Exhibition 2017 参加報告
小森省吾
-
- 235 **2018 年度春期地質調査研修報告** 鹿野和彦・村岡やよい
-
- 239 **地質標本館来館者アンケート結果概報 (2017 年度)**
辻野 匠・谷島清一・朝川暢子・下川浩一・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・
中山 淳・常木俊宏・五十嵐幸子・川鈴木 宏・利光誠一・藤原 治
-
- 249 **平成 30 年度地質調査総合センター新規採用職員研修報告**
佐藤大介・辻野 匠
-
- 253 **受賞・表彰** 元産業技術総合研究所地質調査所環境地質部長の磯部一洋氏が
瑞宝小綬章を受章

地質標本館2018年度特別展

地球の時間、 ヒトの時間

— アト秒から46億年まで35桁の物語 —

2018年

8月21日^火 ~ 11月18日^日

地球の年齢(約46億年=約 1.45×10^{17} 秒)、
恐竜の絶滅(約6,550万年前)など地質学的
な長い時間は、どうやって測るのでしょうか？
一方、一秒の長さは誰がどうやって決めるので
しょう？ それを決めるために人類が作った最
も高精度な時計の精度は 10^{-18} 秒(アト秒)に
達しようとしています。35桁の幅がある時間
のお話を、一緒に紐解いてみましょう。

開催場所：地質標本館 1階ホール
開館時間：9時30分～16時30分
休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

入場
無料

協力：東京大学大気海洋研究所、立命館大学古気候学研究センター、
株式会社パレオ・ラボ、株式会社京都フィッシュン・トラック
産総研 計量標準総合センター、若狭三方縄文博物館

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

 **GEOLOGICAL MUSEUM**
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 第七事業所
TEL : 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 中島礼
委員 井川怜欧
児玉信介
竹田幹郎
山崎誠子
小松原純子
伏島祐一郎
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第7巻第9号
平成30年9月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : Yoshinori Miyachi
Deputy Chief Editor : Rei Nakashima
Editors : Reo Ikawa
Shinsuke Kodama
Mikio Takeda
Seiko Yamasaki
Junko Komatsubara
Yuichiro Fusejima
Rie Morijiri

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 7 No. 9
September 15, 2018

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



埼玉県秩父郡長瀬町^{ながとろ}の荒川沿いに露出する結晶片岩の露頭群は「長瀬の岩畳」として古くから観光地として知られている。その露頭群の中でも埼玉県立自然の博物館近くのスチルプノメレン片岩の岩体は茶色の縞模様が虎の体表の模様のように見えることから「虎岩」と呼ばれている。宮沢賢治はこの虎岩を見て「つくづくと粋なもやうの博多帯 荒川ぎしの片岩のいろ」という歌を詠んだ。博物館前の駐車場にその歌碑が建っている。

(写真・文：地質調査総合センター地質情報研究部門 小松原純子)

Stilpnomelane schist called 'Tiger rock' in Nagatoro schist terraces. Photo and Caption by Junko KOMATSUBARA